

平成 29 年度秋期 IT ストラテジスト 午後 I 試験 解答速報

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017.10.18 発表

問 1 大型機器における IoT を活用したビジネスモデル構築

【解答例】

[設問 1]

- (1) 部品の標準化や共通化の取組みが行われているか確認する。(26 字)
- (2) 営業部：顧客からの新機能や機能改善の要求に対応できているか確認する。(29 字)
研究部：製品にユニットを組み込み有効活用できるようにするために助言する。(31 字)
- (3) 製造計画の精度向上とボトルネックの防止 (19 字)
- (4) 顧客に提示する対応可能な納期の調整を行う。(20 字)

[設問 2]

- (1) P 社の整備部門の業務を A 社の ES 部で受託する。(22 字)

【別解】 P 社の整備部門に A 社の ES 部のメンバを参加させる。(24 字)

- (2) 大型車両の運転や整備の履歴情報の提供と、全車両へのユニットの組み込みを依頼する。(38 字)

問 2 飲料メーカーの合併に伴う物流業務の見直し

【解答例】

[設問 1]

- (1) G 社商品の物流センタへの入荷予定情報と顧客への出荷情報 (27 字)
- (2) 統一すべき情報：顧客の届け先コード 【別解】 届け先コード
G 社の顧客に依頼すること：配送希望時間の契約を時間幅がある時間帯指定に変更してもらう。(29 字)

[設問 2]

- (1) 区分 B の商品を事前準備できるため出荷作業時間が短縮される。(28 字)
- (2) 区分 A の商品の在庫スペースの削減 (16 字)
- (3) ドライバの拘束時間を短縮できる。(15 字)

[設問 3]

- (1) 積み込み作業の実績時間の情報 (13 字)
- (2) 時間帯によって作業者が不足することがないように配置を行う。(28 字)
【別解】 積み込み作業時間を顧客への配送時刻に合わせて設定する。(25 字)

問3 クレジットカード会社の保有データを活用した取組み

【解答例】

[設問1]

ポイントシステムが顧客の囲い込みに有効に働いていない点 (27字)

[設問2]

(1) 特典対象の会員を加盟店に特定されないようにするため (25字)

(2) 特典に要する費用が想定外に多くなることを防ぐ。 (22字)

【別解】特典を利用額に応じることによって利用額の向上が見込める。(24字)

【別解】加盟店と特定顧客、特定商品の結び付けが煩雑になる。(24字)

[設問3]

(1) 新規入会時やカード更新時に利用限度額を適切に設定すること (28字)

(2) 購入日、月別請求日、月別入金日 (15字)

[設問4]

(1) 加盟店が抽出条件を直接設定できる機能 (18字)

(2) 未決済の残高 (6字)

問4 超小型人工衛星の事業化

【解答例】

[設問1]

(1) 第一次産業で人工衛星による画像データ利用の要求が急速に高まりつつある。(34字)

(2) 一般的な人工衛星からの流用性が低く、国内に先行メーカーがない。(29字)

[設問2]

(1) 初期費用を抑制でき、最新の技術や研究成果が利用できるため (28字)

(2) 人工衛星のデータから価値の高い情報を生成できること (25字)

【別解】保有技術面での課題解決の見通しがつくこと (20字)

(3) 特徴：人工衛星一基当たりの打ち上げコストが小さく、運用が失敗した場合の損失額も小さい。(39字)

事業戦略：低コストで高シェアを獲得する。(14字)

【別解】

特徴：リスクが表面化した場合の損失額が一般的な人工衛星と比較して小さい。(32字)

事業戦略：低いリスクで早期のシェア獲得 (14字)

[設問3]

(1) 第一次産業 (5字)

(2) 各種データをAI技術で解析し、より価値が高い情報を提供する。(29字)

【別解】AI技術を利用して顧客のニーズに合った解析情報を提供する。(28字)

以上